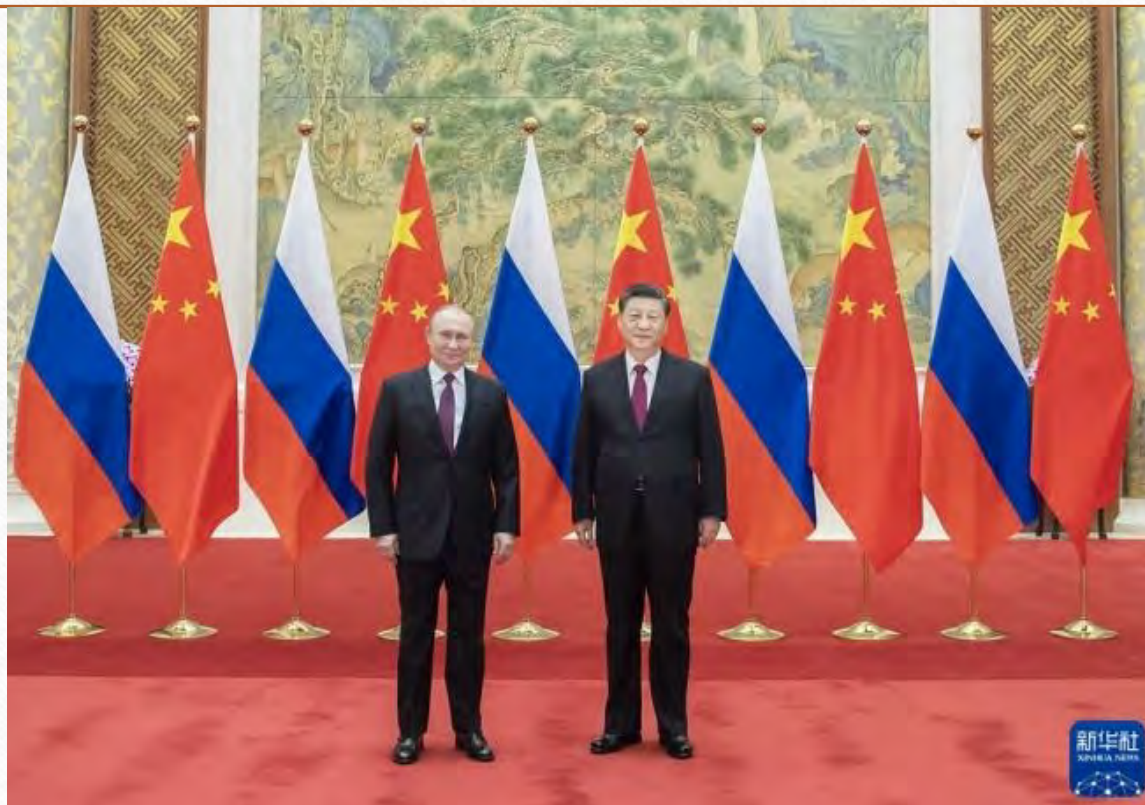


ウクライナ危機への 中国の立ち位置

2023年7月9日

東京大学 高原明生

中国の対口、対ウ政策——局面の変化



中ロ共同声明——国際関係について

「共通する隣接地域の安全と安定を覆す外国勢力の試みに反対・・・主権国家の内政干渉に反撃・・・カラー革命に反対・・・以上の分野で協力を強化する」

「NATOの更なる拡大に反対」「アジア太平洋での閉鎖的ブロックの形成に反対・・・米国のインド太平洋戦略が地域の平和と安定に及ぼす負の影響を強く警戒」「AUKUSにつき深刻に懸念」

「両国の友情は無限で、協力を禁制分野はない」

中口的一致点

(1) 対米戦略競争が最重要事項

対米関係というレンズを通して世界を見る——実像の歪み、相互パートナーシップ最重要「蜀と呉に矛盾あれど互いに相手が必要」

(2) 独裁的な指導者と極少数の側近たちによる意思決定、及び世界観の一致——民主主義は失敗、米国主導国際秩序の危機、中口が新秩序を主導、カラー革命の危険

←正しい情報(不都合な真実)が伝わっているか。間違いを犯しても正されない。

2度の習プーチン電話会談 (ロシア側の発表)

2月25日

「習主席は、ロの指導者が目下の危機的情勢下で採った行動を尊重すると強調した」

6月15日

「中国の国家主席は、外国勢力によってもたらされた安全保障への挑戦に直面し、根本的な国益を守るためにロシアが取った行動の正統性に留意した」

中露間の不一致が露見(9月)

サマルカンドでの首脳会談でのプーチン発言(9月15日)

「我々はウクライナ危機に関する中国の友人たちの均衡の取れたポジションに感謝しそれを評価する。これについてのあなたの疑問と懸念について理解している。」



(写真は中国中央テレビ)

Cf.モスクワでの栗戦書発言(9月9日)

「中国はウクライナ情勢についてロシアを理解し支持する」(於ロシア連邦下院)



9.15プーチン発言は習の立ち位置の修正を反映

立ち位置修正の原因

- 戦況の変化、ウクライナの反転攻勢
- 中国国内の異論：ロシアは力不足、「世界の主流に付くべし」
- 中国経済の苦境、対欧米日関係の改善へ
- 中ロの相違

ロシアのナショナリズムと冷戦敗北のルサンチマン

↔ 中国のリアリズムと超大国の座へ駆け上らんとする勢い

日米欧への接近

- ショルツ首相訪中「ロシアの核による威嚇が無責任かつ非常に危険だという認識で両国は一致した」 (11月初)
- 米中首脳会談「ウクライナにおける核兵器の使用やその脅しに反対」 (11月半ば)
- 日中首脳会談 習「日中関係の重要性は変わっていないし今後も変わらない。両国経済の相互依存度は高い」

習近平訪口(23. 3)——第3局面に突入か

- 2月「政治的立場」に関する文書(いわゆる提案)発表
- 3月習訪口、二つの共同声明発出、中露協力の強化を謳う
新時代全面戦略協力パートナーシップ深化に関する共同声明
2030年までの中ロ経済協力の重点方向と発展計画に関する中国主席とロシア大統領の共同声明
- ウクライナについて新味無し(「責任ある対話が最良の途」)
- **シフト要因** ①戦況に関する判断、②内政、③経済の回復

中国の(微妙な)「進出」

- 5月中旬「唐の都、長安」にて中国・中亜首脳会合開催
- 3月習近平訪口時に先進軍事技術の輸入を協議か
- 2月自然資源部 地図表示規範
「以下のロシア地名に括弧で中国名を注記すべし」(国境付近の8ヶ所)
例 符拉迪沃斯托ク(海参崴)

